

科目名称	リハビリテーション医学	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	中田 亮輔	授業に関わる 実務経験	☒ 有（理学療法士） ☐ 無	

【1】授業概要

健康障害を抱えながら生活する人が増加する現代社会。それらの人々の生活の質を高めるため、リハビリテーションの流れを理解する。また、対象の障害に応じたリハビリテーション看護を実践するために、疾患別のリハビリテーションを理解する。

【2】学習目標

1. 運動器の障害とリハビリテーションを理解する。
2. 呼吸器・循環器系の障害とリハビリテーションを理解する。
3. 感覚器系の障害とリハビリテーションを理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	リハビリテーションの概念、リハビリテーションの流れ	講義
2	運動器の理学療法①	講義・学内実習
3	運動器の理学療法②	講義
4	糖尿病の理学療法	講義
5	心臓リハビリテーション①	講義
6	心臓リハビリテーション②	講義
7	慢性期の呼吸リハビリテーション	講義
8	急性期の呼吸リハビリテーション	講義・学内実習
9	中枢疾患のリハビリテーション	講義
10	中枢疾患の理学療法	講義・学内実習
11	運動器・中枢疾患の作業療法	講義
12	高次脳機能障害とリハビリテーション	講義
13	コミュニケーション障害とリハビリテーション	講義
14	摂食嚥下障害とリハビリテーション	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験、授業への取り組み(学内実習)を含めた総合評価を行う。

【6】教科書

武田宜子著:系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護（第6版）医学書院 2020年

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

リハビリテーションと言っても、疾患や症状によって様々な方法があります。また、リハビリテーションの効果を高められるか否かは、知識と技術によります。さあ、正しい知識・技術を一緒に学びましょう。